令和3年度福祉学部福祉心理学科　教育課程

① 「科目区分」欄の「P」は心理系科目、「W」は福祉系科目です。
② 「授業期間」欄の「集中」は集中講義の意味です。
③ 評価欄における「認定」の意味は、合・否判定をもって成績とするものであり、評点は付かないのでGPAには反映されません。
④ 「精神保健福祉士」「社会福祉士」欄の「◎」は両受験資格取得における必修科目ですので、資格取得を希望する学生は必ず履修しなければなりません。
⑤ 「公認心理師」を目指す場合は、「必要な科目」欄に「○」のついたすべての科目（27科目）の履修が必要です。
⑥ 「認定心理士」指定科目欄の基礎A～C、選択D～Gは、資格取得のために定められた科目の領域を表しています。

詳細は、キャンパスライフの各資格の取得に関する説明を参照してください。

福島学院大学

R03　授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業 必修	卒業 選択必修	卒業 選択	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉 指定科目	認定心理士 指定科目	公認心理師 必要な科目	授業期間 通年	授業期間 半期	実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
教養教育科目（必修16単位、選択を含め24単位以上履修）	教育方針	本学の教育		講義	1	1								○		8		
	表現力向上分野	文章表現Ⅰ		講義/演習	1	2								○		15		文字・成語・小論文を含む
		文章表現Ⅱ		講義/演習	1	2								○		15		文字・成語・小論文を含む
		会話演習		演習	2			2						○		15		対話及びプレゼンテーションを含む。
		手話		演習	2			2						○		15		
	情報教養分野	ICTリテラシー		講義／演習	1	2								○		15		
		データサイエンス		講義／演習	1	2								○		15		
	人間関係分野	生活教養Ⅰ		講義/演習	1	2								○		15		
		生活教養Ⅱ		講義/演習	3			2						○		15		ビジネスマナーを含む
		地域ボランティア活動（地域振興活動）		実習	1	1							時間割外		45時間		認定	※事前事後指導10時間を含む
	人文社会及び健康分野	音楽演習		演習	1			1						○		15		
		美術演習		演習	1			1						○		15		教室規模により24名までとする。
		心理学概論		講義	1	2			◎	◎	基礎A	○		○		15		
		社会学と社会システム		講義	1			2	◎	◎				○		15		
		癒しと心		講義	1			2						○		15		
		職場とストレス		講義	1			2						○		15		
		食生活と健康		講義	1			2						○		15		
	国際理解分野	英会話ⅠA		演習	1	**1**								○		15		
		英会話ⅠB		演習	1	**1**								○		15		
		英会話ⅡA		演習	2			**1**						○		15		
		英会話ⅡB		演習	2			**1**						○		15		
		時事講座		講義／演習	1			**2**						○		15		
		国際理解論		講義	1			**2**						○		15		
		国際理解演習		演習	1			2					時間割外			15	認定	
	体育分野	体育実技		実技	1			1					○			20		
（P系およびW系科目）	専門基礎科目	福祉心理学Ⅰ	P	講義	1	2						○		○		15		
		福祉心理学Ⅱ	P	講義	3	2					選択G	○		○		15		
		社会福祉の原理と政策	W	講義	1	4			◎	◎			○			30		
		人体の構造と機能及び疾病	W	講義	1	4			◎	◎		○	○			30		
		精神疾患とその治療	W	講義	1	4				◎		○	○			30		
		福祉機器と支援	W	講義	2			2						○		15		
		福祉住環境	W	講義／演習	3			2						○		15		
	心理関連	発達心理学	P	講義	1			2			選択F	○		○		15		
		臨床心理学概論	P	講義	2			2			基礎A	○		○		15		
		心理学研究法	P	演習	2			2			基礎B	○	○			30		
		感情・人格心理学	P	講義	2			2			基礎A	○		○		15		
		知覚・認知心理学	P	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		教育・学校心理学	P	講義	3			2			選択F	○		○		15		
		産業・組織心理学	P	講義	3			2			選択H	○		○		15		
		心理的アセスメントⅠ	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理的アセスメントⅡ	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学統計法	P	講義	2			2			基礎B	○		○		15		

R03　授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業			社会福祉士	精神保健福祉	認定心理士	公認心理師	授業期間		実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
						必修	選択必修	選択	指定科目	指定科目	指定科目	必要な科目	通年	半期				
専門教育科目（必修22単位、選択を含め100単位以上履修）	科目（P系科目）	心理学的支援法	P	講義	2			2				○		○		15		
		心理演習	P	演習	3			1				○		○		15		
		心理学実験	P	演習	2			2			基礎C	○		○		15		
		社会・集団・家族心理学	P	講義	2			2			選択H	○		○		15		
		障害者・障害児心理学	P	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		司法・犯罪心理学	P	講義	3			2			選択G	○		○		15		
		公認心理師の職責	P	講義	1			2				○		○		15		
		学習・言語心理学	P	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		神経・生理心理学	P	講義	1			2			選択E	○		○		15		
		健康・医療心理学	P	講義	3			2			選択G	○		○		15		
		関係行政論	P	講義	1			2				○		○		15		
		心理実習	P	実習	4			2				○	時間割外		80時間以上			
	社会福祉・精神保健福祉関連科目（W系科目）	貧困に対する支援	W	講義	1			2	◎					○		15		
		権利擁護を支える法制度	W	講義	1			2	◎	◎				○		15		
		地域福祉と包括的支援体制	W	講義	2			4	◎	◎			○			30		
		社会保障	W	講義	2			4	◎	◎			○			30		
		高齢者福祉	W	講義	2			2	◎					○		15		
		障害者福祉	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		児童・家庭福祉	W	講義	2			2	◎					○		15		
		社会福祉調査の基礎	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		福祉サービスの組織と経営	W	講義	3			2	◎					○		15		
		保健医療と福祉	W	講義	3			2	◎					○		15		
		刑事司法と福祉	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		ソーシャルワークの基盤と専門職	W	講義	1			2	◎	◎				○		15		
		相談援助の基盤と専門職	W	講義	1			2	◎					○		15		
		ソーシャルワークの理論と方法	W	講義	2			4	◎	◎			○			30		
		相談援助の理論と方法Ⅰ	W	講義	3			2	◎					○		15		
		相談援助の理論と方法Ⅱ	W	講義	3			2	◎					○		15		
		ソーシャルワーク演習	W	演習	2			1	◎	◎				○		15		
		相談援助演習Ⅰ	W	演習	2			1	◎					○		15		
		相談援助演習Ⅱ	W	演習	3			1	◎					○		15		
		相談援助演習Ⅲ	W	演習	3			1	◎					○		15		
		相談援助演習Ⅳ	W	演習	4			1	◎					○		15		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	W	演習	3			1	◎					○		15		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	W	演習	3			1	◎					○		15		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	W	演習	4			1	◎					○		15		
		ソーシャルワーク実習	W	実習	4			6	◎				時間割外		240時間以上			
		現代の精神保健の課題と支援	W	講義	1			4		◎			○			30		
		精神保健福祉の原理	W	講義	2			4		◎			○			30		
		精神保健福祉制度論	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神障害リハビリテーション論	W	講義	3			2		◎				○		15		
		ソーシャルワークの理論と方法（専門）	W	講義	3			4		◎			○			30		
		精神保健福祉援助演習Ⅰ	W	演習	2			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	W	演習	3			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助演習Ⅲ	W	演習	4			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	W	演習	3			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	W	演習	4			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	W	演習	4			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助実習	W	実習	4			5		◎			時間割外		210時間以上			

R03　授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業			社会福祉士	精神保健福祉	認定心理士	公認心理師	授業期間		実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
						必修	選択必修	選択	指定科目	指定科目	指定科目	必要な科目	通年	半期				
		スクールソーシャルワーク論	W	講義	3			2						○		15		
	共通専門科目	基礎ゼミⅠ	―	演習	1	1							○			15		原則隔週開講
		基礎ゼミⅡ	―	演習	2	1							○			15		原則隔週開講
		ゼミナールⅠ	―	演習	3	2							○			30		
		ゼミナールⅡ	―	演習	4	2							○			30		
		卒業研究	―	演習	4			4					時間割外					
		総合福祉Ⅰ	―	講義	4			2						○		15		
		総合福祉Ⅱ	―	講義	4			2						○		15		
		専門職連携教育セミナー	―	講義／演習	3			2					時間割外					

卒業に必要な単位数

教養教育科目	24単位以上	必修	16単位	合計 124単位以上
		選択	8単位以上	
専門教育科目	100単位以上	必修	22単位	
		選択	78単位以上	

令和２年度　福祉学部福祉心理学科　教育課程

授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業 必修	卒業 選択必修	卒業 選択	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	認定心理士 指定科目	公認心理師 必要な科目	授業期間 通年	授業期間 半期	実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
教養教育科目（必修16単位、選択必修7単位を含め26単位以上履修）	教育方針	本学の教育		講義	1	1								○		8		
	表現力向上分野	文章表現		講義/演習	1	4							○			30		文字・成語・小論文を含む
		書写演習		演習	2			1						○		15		指定者必修
		会話演習		演習	2	2								○		15		対話及びプレゼンテーションを含む。
	情報教養分野	情報機器操作Ⅰ		演習	1	2単位以上選択必修	1							○		15		備考A
		情報機器操作Ⅱ		演習	1		1							○		15		
		情報機器操作Ⅲ		演習	1		1							○		15		
		スマートフォン活用法		演習	1			1						○		8		
		スマートフォンのモラルとリスク		演習	1			1						○		8		
		ウェブ動画制作		演習	2			1						○		15		
	人間関係分野	生活教養Ⅰ		講義/演習	1	2								○		15		
		生活教養Ⅱ		講義/演習	3			2						○		15		
		現代人間関係論		講義	2			2						○		15		
		地域ボランティア活動		実習	1･2･3･4	1単位以上選択必修	1						時間割外		45時間		認定	事前事後指導10時間を含む
		地域振興活動		実習	1･2･3･4		1						時間割外		45時間		認定	事前事後指導10時間を含む
	人文社会及び健康分野	音楽演習		演習	1･2			2					○			30		
		美術演習		演習	1			2					○			30		教室規模により24名までとする。
		心理学概論		講義	1	4			A	A	基礎A	○	○			30		
		法学		講義	2			2						○		15		
		社会学		講義	2			2	A1	A1				○		15		
		癒しと心		講義	1			2						○		15		
		職場とストレス		講義	1			2						○		15		
		食生活と健康		講義	1			2						○		15		
	国際理解分野	英会話Ⅰ		演習	1	2科目4単位以上選択必修	2						○			30		備考B
		英会話Ⅱ		演習	2		2						○			30		
		中国語会話Ⅰ		演習	1		2						○			30		
		中国語会話Ⅱ		演習	2		2						○			30		
		国際理解論		講義	1	2								○		15		
		国際理解演習		演習	1･2･3･4			2					時間割外			15	認定	
	体育分野	体育実技		実技	1	1							○			20		
（必修21単位を含め98単位以上履修）専門教育科目	専門基礎科目（P系およびW系科目）	福祉心理学Ⅰ	P	講義	1	2						○		○		15		
		福祉心理学Ⅱ	P	講義	3	2					選択G	○		○		15		
		福祉キャリア研究	W	演習	2	2							○			15	認定	クラスセミナーとの隔週開講
		アカデミック・スキル演習	P	演習	1	1								○		15		
		人体の構造と機能及び疾病	W	講義	1			4	A1	A1		○	○			30		
		精神疾患とその治療	W	講義	1	4				◎		○	○			30		
	心理関連科目（P系科目）	発達心理学	P	講義	1	2					選択F	○		○		15		
		臨床心理学概論	P	講義	1			2			基礎A	○		○		15		
		心理学研究法	P	演習	2			2			基礎B	○	○			30		
		感情・人格心理学	P	講義	2			2			基礎A	○		○		15		

専門教育科目（必修21単位を含め98単位以上履修）	心理関連科目（P系科目）	知覚・認知心理学	P	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		教育・学校心理学	P	講義	3			2			選択F	○		○		15		
		発達臨床心理学	P	講義	3			2			選択F			○		15		
		産業・組織心理学	P	講義	3			2			選択H	○		○		15		
		心理的アセスメントⅠ	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理的アセスメントⅡ	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学統計法	P	講義	3			2			基礎B	○		○		15		
		心理学的支援法	P	講義	2			2				○		○		15		
		心理演習	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学実験	P	実習	2			2			基礎C	○	○		60時間	30		
		社会・集団・家族心理学	P	講義	2			2			選択H	○		○		15		
		障害者・障害児心理学	P	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		司法・犯罪心理学	P	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		犯罪行動と心理演習	P	演習	3			2					○			30		
		心理療法	P	講義	2			2			選択G			○		15		
		公認心理師の職責	P	講義	3			2				○		○		15		
		学習・言語心理学	P	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		神経・生理心理学	P	講義	2			2			選択E	○		○		15		
		健康・医療心理学	P	講義	3			2			選択G	○		○		15		
		関係行政論	P	講義	3			2				○		○		15		
		心理実習	P	実習	4			2				○	時間割外		80時間以上			
	社会福祉・精神保健福祉関連科目（W系科目）	社会福祉原論	W	講義	2	4			◎	◎			○			30		
		医療福祉論	W	講義	3			2						○		15		
		社会調査法	W	講義	3			2	◎					○		15		
		相談援助の基盤と専門職	W	講義	1			4	◎				○			30		
		社会福祉援助技術論Ⅰ	W	講義	2			4	◎				○			30		
		社会福祉援助技術論Ⅱ	W	講義	3			4	◎				○			30		
		地域福祉論	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		コミュニティーソーシャルワーク	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		福祉行財政と福祉計画	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		社会福祉運営管理	W	講義	3			2	◎					○		15		
		社会保障	W	講義	2			4	◎	◎			○			30		
		高齢者に対する支援と介護保険制度	W	講義	1			4	◎				○			30		
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		児童・家庭福祉	W	講義	2			4	◎				○			30		
		低所得者に対する支援と生活保護制度	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		保健医療サービス	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		就労支援	W	講義	3			1	A2					8コマ		8		
		権利擁護と成年後見制度	W	講義	3			2	A2	◎				○		15		
		更生保護制度	W	講義	3			1	A2					8コマ		8		
		相談援助演習Ⅰ	W	演習	2			1	◎					○		15		
		相談援助演習Ⅱ	W	演習	3			2	◎				○			30		
		相談援助演習Ⅲ	W	演習	4			2	◎				○			30		
		相談援助実習指導	W	演習	3･4			3	◎				○			45		

専門教育科目（必修21単位を含め98単位以上履修）	社会福祉・精神保健福祉関連科目（W系科目）	相談援助実習	W	実習	3･4			4	◎				時間割外		180時間以上				
		精神保健学	W	講義	1			4		◎			○			30			
		精神保健福祉に関する制度とサービス	W	講義	2			4		◎			○			30			
		精神障害者の生活支援システム	W	講義	2			2		◎				○		15			
		精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	W	講義	2			2		◎				○		15			
		精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	W	講義	2			2		◎				○		15			
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	W	講義	3			4		◎			○			30			
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	W	講義	3			4		◎			○			30			
		精神保健福祉援助演習(基礎)	W	演習	3			1		◎				○		15			
		精神保健福祉援助演習(専門)	W	演習	4			2		◎			○			30			
		精神保健福祉援助実習指導	W	演習	4			3		◎			○			45			
		精神保健福祉援助実習	W	実習	4			5		◎			時間割外		210時間以上				
		福祉住環境演習	W	演習	3			2					○			30			
	共通科目専門	ゼミナール	―	演習	3･4	4							○			60		2年連続4単位。	

卒業に必要な単位数

教養教育科目	26単位以上	必修	16単位		合計 124単位以上
		選択必修	7単位		
		選択	3単位以上		
専門教育科目	98単位以上	必修	心理系（Ｐ系）	7単位	
			福祉系（W系）	10単位	
			ゼミナール	4単位	
		選択	77単位以上 （うちＰ系科目23単位以上、 W系科目20単位以上を含む）		

① 「科目区分」欄の「Ｐ」は心理系科目、「W」は福祉系科目です。

② 「授業期間」欄の「集中」は集中講義の意味です。

③ 備考欄の「備考A」については、入学時にテストによりⅠ、Ⅱのクラス分けを実施します。
Ⅰの履修者はⅡを、Ⅱの履修者はⅢを続けて履修してください。教室規模により、1クラス35名程度で実施します。

④ 備考欄の「備考B」について、1年次に選択語学を1種類選択します。同一言語のⅠ・Ⅱを、2年間で2科目履修することを基本としています。

⑤ 評価欄における「認定」の意味は、合・否判定をもって成績とするものであり、評点は付かないのでGPAには反映されません。

⑥ 「精神保健福祉士」「社会福祉士」欄の「◎」は必修科目ですので、必ず履修しなければなりません。「A1」と「Ａ」　（ A は本学では必修科目です）のついた３科目の中から1科目以上、「A2」のついた3科目の中から1科目以上履修しなければなりません。しかし、国家試験ではこれら6科目全てについて試験が実施されますので、全て履修することが望まれます。

⑦ 「公認心理師」を目指す場合は、「必要な科目」欄に「○」のついたすべての科目（27科目）の履修が必要です。

⑧ 「認定心理士」指定科目欄の基礎A～C、選択D～Gは、資格取得のために定められた科目の領域を表しています。

詳細は、キャンパスライフの各資格の取得に関する説明を参照してください。

平成31年度福祉学部福祉心理学科　教育課程

① 「科目区分」欄の「P」は心理系科目、「W」は福祉系科目です。
② 「授業期間」欄の「集中」は集中講義の意味です。
③ 備考欄の「備考A」については、入学時にテストによりⅠ、Ⅱのクラス分けを実施します。
Ⅰの履修者はⅡを、Ⅱの履修者はⅢを続けて履修してください。教室規模により、1クラス35名程度で実施します。
④ 備考欄の「備考B」について、1年次に選択語学を1種類選択します。同一言語のⅠ・Ⅱを、2年間で2科目履修することを基本としています。
⑤ 評価欄における「認定」の意味は、合・否判定をもって成績とするものであり、評点は付かないのでGPAには反映されません。
⑥ 「精神保健福祉士」「社会福祉士」欄の「◎」は必修科目ですので、必ず履修しなければなりません。「A1」と「A」　（A は本学では必修科目です）のついた３科目の中から1科目以上、「A2」のついた3科目の中から1科目以上履修しなければなりません。しかし、国家試験ではこれら6科目全てについて試験が実施されますので、全て履修することが望まれます。
⑦ 「公認心理師」を目指す場合は、「必要な科目」欄に「○」のついたすべての科目（27科目）の履修が必要です。
⑧ 「認定心理士」指定科目欄の基礎A～C、選択D～Gは、資格取得のために定められた科目の領域を表しています。

詳細は、キャンパスライフの各資格の取得に関する説明を参照してください。

福島学院大学

H31　授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業 必修	卒業 選択必修	卒業 選択	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	認定心理士 指定科目	公認心理師 必要な科目	授業期間 通年	授業期間 半期	実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
教養教育科目（必修16単位、選択必修7単位を含め26単位以上履修）	教育方針	本学の教育		講義	1	1								○		8		
	表現力向上分野	文章表現		講義/演習	1	4							○			30		文字・成語・小論文を含む
		書写演習		演習	2			1						○		15		指定者必修
		会話演習		演習	2	2								○		15		対話及びプレゼンテーションを含む。
	情報教養分野	情報機器操作Ⅰ		演習	1	2単位以上選択必修	1							○		15		備考A
		情報機器操作Ⅱ		演習	1		1							○		15		
		情報機器操作Ⅲ		演習	1		1							○		15		
		スマートフォン活用法		演習	1			1						○		8		
		スマートフォンのモラルとリスク		演習	1			1						○		8		
		ウェブ動画制作		演習	2			1						○		15		
	人間関係分野	生活教養Ⅰ		講義/演習	1	2								○		15		
		生活教養Ⅱ		講義/演習	3			2						○		15		
		現代人間関係論		講義	2			2						○		15		
		地域ボランティア活動		実習	1･2･3･4	1単位以上選択必修	1						時間割外		45時間		認定	※事前事後指導10時間を含む
		地域振興活動		実習	1･2･3･4		1						時間割外		45時間		認定	※事前事後指導10時間を含む
	人文社会及び健康分野	音楽演習		演習	1･2			2					○			30		
		美術演習		演習	1			2					○			30		教室規模により24名までとする。
		心理学概論		講義	1	4			A	A	基礎A	○	○			30		
		法学		講義	2			2						○		15		
		社会学		講義	2			2	A1	A1				○		15		
		癒しと心		講義	1			2						○		15		
		職場とストレス		講義	1			2						○		15		
		食生活と健康		講義	1			2						○		15		
	国際理解分野	英会話Ⅰ		演習	1	2科目4単位以上選択必修	2						○			30		備考B
		英会話Ⅱ		演習	2		2						○			30		
		中国語会話Ⅰ		演習	1		2						○			30		
		中国語会話Ⅱ		演習	2		2						○			30		
		国際理解論		講義	1	2								○		15		
		国際理解演習		演習	1･2･3･4			2					時間割外			15	認定	
	体育分野	体育実技		実技	1	1							○			20		
専門教育科目（必修21単位を含め98単位以上履修）	専門基礎科目（P系およびW系科目）	福祉心理学Ⅰ	P	講義	1	2						○		○		15		
		福祉心理学Ⅱ	P	講義	3	2					選択G	○		○		15		
		福祉キャリア研究	W	演習	2	2							○			15	認定	クラスセミナーとの隔週開講
		アカデミック・スキル演習	P	演習	1	1								○		15		クラスセミナーとの隔週開講
		人体の構造と機能及び疾病	W	講義	1			4	A1	A1		○	○			30		
		精神疾患とその治療	W	講義	1	4				◎		○	○			30		

H31　授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業			社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	公認心理師	授業期間		実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
						必修	選択必修	選択	指定科目	指定科目	指定科目	必要な科目	通年	半期				
専門教育科目（必修21単位を含め98単位以上履修）	心理関連科目（P系科目）	発達心理学	P	講義	1	2					選択F	○		○		15		
		臨床心理学概論	P	講義	1			2			基礎A	○		○		15		
		心理学研究法	P	演習	2			2			基礎B	○	○			30		
		感情・人格心理学	P	講義	2			2			基礎A	○		○		15		
		知覚・認知心理学	P	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		教育・学校心理学	P	講義	3			2			選択F	○		○		15		
		発達臨床心理学	P	講義	3			2			選択F			○		15		
		産業・組織心理学	P	講義	3			2			選択H	○		○		15		
		心理的アセスメントⅠ	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理的アセスメントⅡ	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学統計法	P	講義	3			2			基礎B	○		○		15		
		心理学的支援法	P	講義	2			2				○		○		15		
		心理演習	P	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学実験	P	実習	2			2			基礎C	○	○		60時間	30		
		社会・集団・家族心理学	P	講義	2			2			選択H	○		○		15		
		障害者・障害児心理学	P	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		司法・犯罪心理学	P	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		犯罪行動と心理演習	P	演習	3			2					○			30		
		心理療法	P	講義	2			2			選択G			○		15		
		公認心理師の職責	P	講義	3			2				○		○		15		
		学習・言語心理学	P	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		神経・生理心理学	P	講義	2			2			選択E	○		○		15		
		健康・医療心理学	P	講義	3			2			選択G	○		○		15		
		関係行政論	P	講義	3			2				○		○		15		
		心理実習	P	実習	4			2				○	時間割外		80時間以上			
	社会福祉・精神保健福祉関連科目（W系科目）	社会福祉原論	W	講義	2	4			◎	◎			○			30		
		医療福祉論	W	講義	3			2						○		15		
		社会調査法	W	講義	3			2	◎					○		15		
		相談援助の基盤と専門職	W	講義	1			4	◎				○			30		
		社会福祉援助技術論Ⅰ	W	講義	2			4	◎				○			30		
		社会福祉援助技術論Ⅱ	W	講義	3			4	◎				○			30		
		地域福祉論	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		コミュニティーソーシャルワーク	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		福祉行財政と福祉計画	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		社会福祉運営管理	W	講義	3			2	◎					○		15		
		社会保障	W	講義	2			4	◎	◎			○			30		
		高齢者に対する支援と介護保険制度	W	講義	1			4	◎				○			30		
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		児童・家庭福祉	W	講義	2			4	◎				○			30		
		低所得者に対する支援と生活保護制度	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		保健医療サービス	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		就労支援	W	講義	3			1	A2					8コマ		8		
		権利擁護と成年後見制度	W	講義	3			2	A2	◎				○		15		

H31　授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業			社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	公認心理師	授業期間		実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
						必修	選択必修	選択	指定科目	指定科目	指定科目	必要な科目	通年	半期				
専門教育科目（必修21単位を含め98単位以上履修）	社会福祉・精神保健福祉関連科目（W系科目）	更生保護制度	W	講義	3			1	A2					８コマ		8		
		相談援助演習Ⅰ	W	演習	2			1	◎					○		15		
		相談援助演習Ⅱ	W	演習	3			2	◎				○			30		
		相談援助演習Ⅲ	W	演習	4			2	◎				○			30		
		相談援助実習指導	W	演習	3･4			3	◎				○			45		
		相談援助実習	W	実習	3･4			4	◎				時間割外		180時間以上			
		精神保健学	W	講義	1			4		◎			○			30		
		精神保健福祉に関する制度とサービス	W	講義	2			4		◎			○			30		
		精神障害者の生活支援システム	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神保健福祉相談援助の基盤　（基礎）	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神保健福祉相談援助の基盤　（専門）	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	W	講義	3			4		◎			○			30		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	W	講義	3			4		◎			○			30		
		精神保健福祉援助演習(基礎)	W	演習	3			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助演習（専門）	W	演習	4			2		◎			○			30		
		精神保健福祉援助実習指導	W	演習	4			3		◎			○			45		
		精神保健福祉援助実習	W	実習	4			5		◎			時間割外		210時間以上			
		福祉住環境演習	W	演習	3			2					○			30		
	共通専門科目	ゼミナール	ー	演習	3,4	4							○			60		2年連続4単位

卒業に必要な単位数

教養教育科目	26単位以上	必修	16単位	合計 124単位以上
		選択必修	7単位	
		選択	3単位以上	
専門教育科目	98単位以上	必修	心理系（Ｐ系）　7単位	
			福祉系（W系）　10単位	
			ゼミナール　4単位	
		選択	77単位以上 （うちＰ系科目23単位以上、 W系科目20単位以上を含む）	

平成30年度福祉学部福祉心理学科　教育課程

① 「科目区分」欄の「Ｐ」は心理系科目、「Ｗ」は福祉系科目です。
② 「授業期間」欄の「集中」は集中講義の意味です。
③ 備考欄の「備考A」について、入学時の能力検査により履修レベルを決定します。２単位以上を必修としていますが、
初級レベルⅠの履修者は、中級レベルⅡまで計４単位以上を必修とします。
④ 備考欄の「備考B」について、1年次に選択語学を1種類選択します。同一言語のⅠ・Ⅱを、2年間で2科目履修することを基本としています。
⑤ 評価欄における「認定」の意味は、合・否判定をもって成績とするものであり、評点は付かないのでGPAには反映されません。
⑥ 「精神保健福祉士」「社会福祉士」欄の「◎」は必修科目ですので、必ず履修しなければなりません。「A1」と「A」　（ A は本学では必修科目です）のついた３科目の中から1科目以上、「A2」のついた3科目の中から1科目以上履修しなければなりません。しかし、国家試験ではこれら6科目全てについて試験が実施されますので、3科目全て履修することが望まれます。
⑦ 「公認心理師」を目指す場合は、「必要な科目」欄に「○」のついたすべての科目（27科目）の履修が必要です。
⑧ 「認定心理士」指定科目欄の基礎A～C、選択D～Ⅰは、資格取得のために定められた科目の領域を表しています。

詳細は、キャンパスライフの各資格の取得に関する説明を参照してください。

福島学院大学

授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業 必修	卒業 選択必修	卒業 選択	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	認定心理士 指定科目	公認心理師 必要な科目	授業期間 通年	授業期間 半期	実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
教養教育科目（必修15単位、選択必修7単位を含め28単位以上履修）	教育方針	本学の教育		講義	1	2								○		15		
	表現力向上分野	国語表現		講義/演習	1	4							○			30		
		文章演習		演習	2			1						○		15		指定者必修
	情報教養分野	情報機器操作Ⅰ		演習	1	2単位以上選択必修	2						○			30		備考Ａ
		情報機器操作Ⅱ		演習	1・2		2						○			30		
	人間関係分野	生活教養		講義/演習	1	2								○		15		
		生活教養Ⅱ		講義/演習	3			2						○		15		
		地域ボランティア活動		実習	1･2･3･4	1単位以上選択必修	1						時間割外		45時間		認定	※事前事後指導10時間を含む
		地域振興活動		実習	1･2･3･4		1						時間割外		45時間		認定	※事前事後指導10時間を含む
	人文社会及び健康教養分野	音楽演習		演習	1･2			2					○			30		
		美術演習		演習	1			2					○			30		
		心理学概論		講義	1	4			A	A	基礎A	○	○			30		
		法学		講義	2			2						○		15		
		社会学		講義	2			2	A1	A1				○		15		
		女性と保健		講義	1			2						○		15		
		育児ストレス		講義	1			2						○		15		
		食生活と健康		講義	1			2						○		15		
	国際理解分野	英会話Ⅰ		演習	1	2科目4単位以上選択必修	2						○			30		備考Ｂ
		英会話Ⅱ		演習	2		2						○			30		
		中国語会話Ⅰ		演習	1		2						○			30		
		中国語会話Ⅱ		演習	2		2						○			30		
		国際理解論		講義	1	2								○		15		
		国際理解演習		演習	1･2･3･4			2					時間割外				認定	
	体育分野	体育実技Ⅰ		実習	1	1							○			23		
		体育実技Ⅱ		実習	2			1					○			23		
専門教育科目（必修20単位を含め96単位以上履修）	専門基礎科目（Ｐ系およびＷ系科目）	福祉心理学Ⅰ	Ｐ	講義	1	2						○		○		15		
		福祉心理学Ⅱ	Ｐ	講義	3	2					選択G	○		○		15		
		福祉キャリア研究	Ｗ	演習	2	2							○			15	認定	
		コミュニケーション演習	Ｐ	演習	1			1						○		15		
		人体の構造と機能及び疾病	Ｗ	講義	1			4	A1	A1		○	○			30		
		精神疾患とその治療	Ｗ	講義	1	4				◎		○	○			30		
	心理関連科目（Ｐ系科目）	**発達心理学**	Ｐ	講義	1	2					選択F	○		○		15		
		臨床心理学概論	Ｐ	講義	1			2			基礎A	○		○		15		
		心理学研究法	Ｐ	演習	2			2			基礎B	○	○			30		
		感情・人格心理学	Ｐ	講義	2			2			基礎A	○		○		15		
		知覚・認知心理学	Ｐ	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		教育・学校心理学	Ｐ	講義	3			2			選択F	○		○		15		
		発達臨床心理学	Ｐ	講義	3			2			選択F			○		15		
		産業・組織心理学	Ｐ	講義	3			2			選択H	○		○		15		
		心理的アセスメントⅠ	Ｐ	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理的アセスメントⅡ	Ｐ	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学統計法	Ｐ	講義	3			2			基礎B	○		○		15		
		心理学的支援法	Ｐ	講義	2			2				○		○		15		
		心理演習	Ｐ	演習	3			1			基礎C	○		○		15		
		心理学実験	Ｐ	実習	2			2			基礎C	○	○		60時間	30		
		社会・集団・家族心理学	Ｐ	講義	2			2			選択H	○		○		15		
		障害者・障害児心理学	Ｐ	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		司法・犯罪心理学	Ｐ	講義	2			2			選択G	○		○		15		
		犯罪行動と心理演習	Ｐ	演習	3			2					○			30		
		心理療法	Ｐ	講義	2			2			選択G			○		15		
		公認心理師の職責	Ｐ	講義	3			2				○		○		15		
		学習・言語心理学	Ｐ	講義	2			2			選択D	○		○		15		
		神経・生理心理学	Ｐ	講義	2			2			選択E	○		○		15		
		健康・医療心理学	Ｐ	講義	3			2			選択G	○		○		15		
		関係行政論	Ｐ	講義	3			2				○		○		15		
		心理実習	Ｐ	実習	4			2				○	時間割外		80時間以上			

授業科目			科目区分	授業形態	標準履修年次	卒業			社会福祉士	精神保健福祉士	認定心理士	公認心理師	授業期間		実習時間数（日数）	回数	評価	備　考
						必修	選択必修	選択	指定科目	指定科目	指定科目	必要な科目	通年	半期				
専門教育科目（必修20単位を含め96単位以上履修）	社会福祉・精神保健福祉関連科目（W系科目）	社会福祉原論	W	講義	2	4			◎	◎			○			30		
		医療福祉論	W	講義	3			2						○		15		
		社会調査法	W	講義	3			2	◎					○		15		
		相談援助の基盤と専門職	W	講義	1			4	◎				○			30		
		社会福祉援助技術論Ⅰ	W	講義	2			4	◎				○			30		
		社会福祉援助技術論Ⅱ	W	講義	3			4	◎				○			30		
		地域福祉論	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		コミュニティーソーシャルワーク	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		福祉行財政と福祉計画	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		社会福祉運営管理	W	講義	3			2	◎					○		15		
		社会保障	W	講義	2			4	◎	◎			○			30		
		高齢者に対する支援と介護保険制度	W	講義	1			4	◎				○			30		
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	W	講義	2			2	◎	◎				○		15		
		児童・家庭福祉	W	講義	2			4	◎				○			30		
		低所得者に対する支援と生活保護制度	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		保健医療サービス	W	講義	3			2	◎	◎				○		15		
		就労支援	W	講義	3			1	A2					８コマ		8		
		権利擁護と成年後見制度	W	講義	3			2	A2	◎				○		15		
		更生保護制度	W	講義	3			1	A2					８コマ		8		
		相談援助演習Ⅰ	W	演習	2			1	◎					○		15		
		相談援助演習Ⅱ	W	演習	3			2	◎				○			30		
		相談援助演習Ⅲ	W	演習	4			2	◎				○			30		
		相談援助実習指導	W	演習	3･4			3	◎				○			45		
		相談援助実習	W	実習	3･4			4	◎				時間割外		180時間以上			
		精神保健学	W	講義	1			4		◎			○			30		
		精神保健福祉に関する制度とサービス	W	講義	2			4		◎			○			30		
		精神障害者の生活支援システム	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	W	講義	2			2		◎				○		15		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	W	講義	3			4		◎			○			30		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	W	講義	3			4		◎			○			30		
		精神保健福祉援助演習(基礎)	W	演習	2			1		◎				○		15		
		精神保健福祉援助演習(専門)	W	演習	3			2		◎			○			30		
		精神保健福祉援助実習指導	W	演習	4			3		◎			○			45		
		精神保健福祉援助実習	W	実習	4			5		◎			時間割外		210時間以上			
		母子保健Ⅰ	―	講義	1			2						○		15		
		母子保健Ⅱ	―	講義	1			2						○		15		
		福祉住環境演習	W	演習	3			2					○			30		
	専門科目共通	ゼミナール	―	演習	3,4	4							○			60		2年連続4単位。

卒業に必要な単位数

教養教育科目	28単位以上	必修	15単位		合計 124単位以上
		選択必修	7単位(情報機器操作Ⅰ履修者は9単位)		
		選択	6単位以上(情報機器操作Ⅰ履修者は4単位)		
専門教育科目	96単位以上	必修	心理系（Ｐ系）	6単位	
			福祉系（W系）	10単位	
			ゼミナール	4単位	
		選択	76単位以上 （うちＰ系科目24単位以上、 W系科目20単位以上を含む）		